



2025北海道・根室のながき昆布 180g袋入/1000円 問合せ県連合 Tel.086-242-5510 別紙注文書 Fax. 086-242-5512

地区は標高400m 9月28日に訪れた時は涼しく、天然のクラーダ川上流は5年前程前

から毎年近隣の労働組合員家族のみなさんや友だちを招いて、ハチミツ採りの体験会を開いているとのこと。今回、初めての人もさそって7名が参加した。最近ミツバチの巣箱の数を増やしたという。初体験の3名



天然ハチミツ採り交流

党員の川上隆土さんは郵便物を退職後、実家の高梁で養蜂を趣味としている。

「ガラスの天井」は破られたが…!

日本で初めて女性の首相誕生に期待半分といった反応。タカ派の言動で知られる高市政権がどう動くか、注視が必要だ。高市新政権の姿勢を問う。

PHOTO JOURNAL ① 平和・人権コンサート10/5 戦争のカゲが着々と近づいている、と警鐘。「平和がいい」と平和運動の継続の大切さを訴えた。主催者あいさつ



9条改憲や緊急事態条項まで工程表に明示、とこれまでにない本気度の「決断と前進」の構えを見せている。自公連立の「重し」から解放され、維新の「アクセラ」役で全開ということか。権力の暴走が危惧される。

積み上げてきた議論を否定する暴走

自維連立の力ギとされた議員定数削減は、多様性の社会にあつて少数意見を排除し、民主主義をゆるがしかなない危険性を持つ。積み上げてきた夫婦別姓選択にも否定的で、また「ワイクライフ・バランスの言葉は捨てる」の発言も「働き方改革に逆行する」との批判があがつている。ここにも保守強行派の本質が見事に現れている。

戦後日本の平和主義、民

談話

県連合代表 宮田 好夫

憲政史上初の女性首相、高市早苗政権と日本維新の会は、連立し、「政治とカネ」問題をうやむやに、自民政治を延命させた。自維連立の力ギとした議員定数削減は、多様性社会にあつて少数意見が排除され、民主主義をゆるがすものだ。連立の維新は、高市首相の保守色の「アクセラ」役を果たし、スパイ防止法や改憲、軍拡など、権力の暴走が懸念される。社民党は、直面する物価高から国民生活を守り、改憲、軍拡や排外主義、戦争への道、「新しい戦前」に向かわせないために全力を尽くす。 10月21日

党県連合活動日誌

- 10/5 平和・人権コンサート(西川アイプラザ)
10/8 党定例街宣さんすて前
10/9 市民と野党の打合せ
10/10 党中国ブロック幹事長会議(Zoom)
10/11~12 党中国ブロック総会(岩国)
10/13 美作平和センター総会(宮田)
10/14 市民読者会
" さよなら原発・県実行委
10/18 10月期党常任幹事会
10/25 市民と立憲野党合同宣伝
10/26 自治労全国一般岡山定期大会(メッセージ)



PHOTO JOURNAL ② 10/8 . 10/25

が宇宙服のような防護服に着替えて、川上さんから巣箱の様子を聞いて巣箱に近づき、新聞紙を丸めて火を付け煙でハチをおとなしくさせる。次に巣箱からミツを蓄えた板を取り出し、遠心分離機にかけてとみるみる内にミツが溜まり、辺り一面にミツの甘い香りが漂う。天然のハチミツの味は別格で、ホットケーキにかけて味わった。暑いなかの参院選の疲れも吹き飛ばす時だった。取材・池田



、岸田、石破と目まぐるしく自民短命政権が変わる。自民党内野党を任じていた石破政権も裏金問題をあいたまま国民の怒りを買った。衆参で少数与党に。自民の次手が女性の高市新総裁、自民版紙芝居もいよいよ最終ペーシカ▼「自助・共助・公助」から「新しい資本主義」「楽しい日本」に続く高市新総裁の「強い日本経済」で、「私もワーク・ライフ・バランスを捨てる」「働いて、働いては、さすがに「行き過ぎ」と批判が起る▼さらに総務相の当時には「電波止めるぞ」の発言など、非常にタカ派的で言論・表現・報道の自由など憲法違反の危険な経歴を持つ▼いま首班指名を前に公明党が連立を離脱し、政界に激震が連立を揺るがす。野党も連携の在り方で政治空白は3カ月に及ぶ。物価値上げに国民はガマンも限界に▼総理指名の員数集めも重要だが、自民政治を終わらせるために何をやるのか。まず先に「政治とカネ」問題の決着、政治への信頼回復を図らねばならない。 10/15 記(の)

定例学習・読者会

「新報」読者会 11月11日(第2火) 17時
辰巳「時事問題懇話会」 11月28日(最終金) 17時
※いずれも辰巳事務所

Table with 3 columns: Date/Time, Event Name, Location/Details. Includes events like '11/2 (日) 13:00 さよなら原発・総会学習会(映画会) 無料' and '11/26(水) 18:30開演 岡山芸術創造劇場ハレノワ 金剛山歌劇団公演'.